

健康と光線

サナモアの理念

サナモア光線療法について、日々、さまざまな質問を受けてます。中には一縷の望みを託して問い合わせる深刻な病状の方もおられます。それに対し通常、健康面の管理から各種疾患の治療まで効果を期待して使って下さい、と答えています。こう言つと打出の小槌じゃあるまいし、うさんくさいと言われそうですが、勘ぐらずに聞いてください。

サナモアは、太陽光線の紫外線、可視線、赤外線的作用を総合的に応用する日光療法を發展させたものです。日光療法は光線的作用が科学的に解明されていなかった古代から、医聖ヒポクラテスを始め多くの先人が光線には病を癒す自然治癒力(生

命力)を向上させる作用があることを察知し、さまざまな病気の治療に応用し有用性を書き残しました。すなわちサナモアの理念は、近代西洋医学(以下、医学という)

の診断に基づく特異的治療法の考え方と異なり、生命に備わった自然治癒力を向上させることで病を癒す非特異的治療法であり、それ故、適応症は広範にわたるのです。

医の原点は 自然治癒力

文明が高度に発達した現代社会では、医も医師が実践する人工的な医学のことと考えるのが

病はどのようにして 癒えるのか

自然治癒力との相乗効果

サナモア光線協会 サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

があるから成り立つのであり、病が癒えるのは自然治癒力との相乗効果なのです。

例えば医学の手法の中で評価が高い感染症に対する治療で述べれば、高齢になるほど有効率は低下し、今でも老人性肺炎を中心に感染症は死因の四番目に位置します。これは抗生剤を大

量に投与しても、加齢に伴う自然治癒力(免疫能)の低下が著しいと相乗効果が失われるため治らないからです。生活習慣病の場合、薬で血圧でも血糖値でもコレステロール値でも異常値を正常域にするのは容易になりましたが、合併症を防ぐ点で成果は不十分です。要は薬の有効性も自然治癒力との相乗効果で左右されるのです。

近年、高齢化や生活習慣病の増加で健康志向が高まっており、自然治癒力との関連で健康食品や運動に関心が集まっています。反面、極めて遺憾なことにかつて花形だった日光浴は特に最近なおざりにされています。しかし日光のエネルギーがあつて健康食品を含め食品があり、運動で消費したエネルギーを補えるのです。加えて直接太陽光線を浴びる日光浴が生命の根幹、自然治癒力に関わっていることが科学的に明

らかにされています。

サナモアと他の 治療との併用

サナモアは光線に独自の自然治癒力の向上に寄与する効能を応用する他に類のない自然療法で、かつ副作用を気遣う必要はありません。そのため具合が悪ければ診断が確定する前でも使えます。また病気が他の治療で思うように治らない場合、サナモアを併用することで、他の治療の利点を助け欠点を補い、一般状態の改善、症状の軽減、生活の質(QOL)の維持向上に益するだけでなく、予想以上の相乗効果を認めることもありま

す。私は勤務医からサナモアの普及活動に転身して四半世紀が過ぎました。この間、一般的な医学常識では理解し難いと思われる効果を稀ならず経験しました。この経験が冒頭で述べた、サナモアを健康面の管理から各種疾患の治療まで効果を期待して使って下さい、と答えている所以なのです。

一病息災

一病息災

花粉症(アレルギー性鼻炎)

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

花粉症はアレルギー性鼻炎の代表ですが、毎年、二月から五月にかけてのこの時期に苦しむ患者は年々増加しており、減少傾向にある慢性副鼻腔炎とは対照的です。また花粉症の全国有病率は、地域差はありますが、大体13%から28%と報告されており、関東、東海で多く、北海道、沖縄では少なく、地域の花粉飛散数と相関関係にあることがわかります。

アレルギー性鼻炎は、I型ア

レルギー疾患で、発作反復性のくしゃみ、水性鼻汁、鼻閉を三主徴とする疾患と定義されますが、花粉症は、アレルギー素因をもつ人が、アレルギーの原因となる花粉アレルゲンを吸い込み始まります。体内で起こった免疫応答により、アレルゲンに対する特異的IgE抗体が産生され、鼻粘膜にあるマスト細胞に結合し準備段階を形成。そこに再度、同じアレルゲンが侵入すると抗原抗体反応を生じて、マスト細胞からヒスタミンなどの化学物質が放出され、花粉症に

症 例：45歳、女性。

主 訴：くしゃみ、鼻汁、鼻閉、目のかゆみ、頭痛。

起始・経過：数年前から、春先になると上記主訴を自覚し、近医耳鼻科では、スギ花粉によるアレルギー性鼻炎と診断されている。生来、薬剤や化粧品によるアレルギーをもっているため、点鼻薬や点眼薬のみで対処してきたが、年々、症状が増悪しており来院した。

治 療：①側臥位にて45分、4灯照射。

後頭部から後頸部(BD)、腹部(BD)、膝(AB)、足裏(AB)。

②顔面には、集光器を用いて、15分照射(BD)。

経 過：治療開始は、3月上旬で、花粉症による症状は始まっていたが、週に2、3回のペースで治療を開始してから、目のかゆみ、頭痛といった症状は緩和されてきた。相変わらず、外出時間が長かったり、風の強い日には、突発的にくしゃみ、鼻汁などの症状が出現するも、光線療法を継続して行い、明らかに自覚症状は改善した。

病気と光線療法

特有の様々な症状が発現するのです。病初期の症状からは、他のアレルギー疾患や感染性疾患との鑑別が困難なこともありますが、〈表〉に花粉症と鑑別が必要な疾患を列挙します。

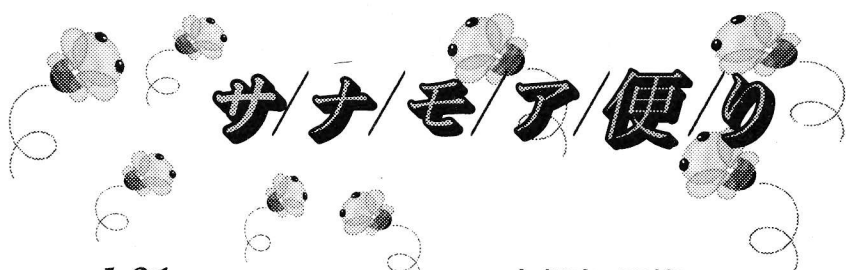
光線療法はビタミンDを介して免疫応答を調節する作用があるため、アレルギー性疾患全般にわたり効果があります。もちろん、花粉症に対しても、予防から症状の緩和まで一定の効果がありますが、治療のタイミング

表：花粉症と鑑別すべき疾患

発症期	症状	花粉飛散期	花粉症	通年性アレルギー	かぜ(急性鼻炎)	慢性副鼻腔炎
発	く	期	花	年	不	年
く	し	み	粉	中	定	中
鼻	汁	水	飛	通	初	無
水	閉	水	散	年	期	粘
鼻	状	持	期	性	の	膿
眼	合	続	中	性	み	性
咽	ゆ	併	持	性	1	持
頭	み	合	続	性	2	続
症	か	ゆ	併	性	週	無
熱	熱	感	み	性	に	感
					多	に
					く	異
					痛	常
					み	感
					しば	に
					しば	

- グとしては、本格的な花粉症シーズンに突入する前から開始することが望ましく、シーズン中はできるだけ毎日治療を続けることが重要です。また、次のような一般的な生活面での注意事項は守るよう心がけて下さい。
- ①室内ダニの除去
 - ②スギ花粉の回避(外出時のマスク使用、帰宅時の洗顔やうがい)
 - ③ペットを飼育しない

第十期
サナモア光線治療師
養成講座のお知らせ
 第十期サナモア光線治療師養成講座を、七月に東京にて開講します。光線治療院の開業を検討



vol.21

宇都宮 正範

第十九回
「光と熱研究会」
のお知らせ

医療に関連した話題の講演や治療例の報告を中心とした研究会を開催していますので、一般のご愛用者の方も是非ご参加下

討されている方やサナモア光線療法について勉強したいとお考えの方は、是非ご連絡ください。なお、詳細につきましては、サナモア光線治療院(〇三・五七五九・三七二〇)までお問い合わせ下さい。

開 講 日 程

7月7日(木)・8日(金)・9日(土)

講 座 内 容

医学総論・関係法規
 サナモア光線療法の基礎と生物学的作用
 光線治療器のメンテナンス法
 ルーフ式・マルチアーク療法の実践
 開院のための準備

さい。なお参加は無料です。
 日 時：四月二十三日(土)
 午後二時三〇分
 場 所：サナモア光線治療院
 三階会議室

治療院&
治療師紹介

カワグチ光線整体療法院

(平成十六年十二月一日開院)

電話：〇四二一三三三九〇

住所：武蔵野市吉祥寺本町二

二〇一九 セゾンハイッ

交通：JR中央線吉祥寺駅北口

より徒歩五分

院長：川口 一憲先生(九期)
 一言：我が人生において、平成十五年は節目の年でした。春にはまだ遠いある日のこと、会社の都合によりサラリーマン生活三十年にピリオドを打ちました。正に青天の霹靂です。夏には、オートバイ事故により、右下腿開放骨折のため、六か月の入院となり、医師からは「再手術が義足もありうる」と容赦ない説明を受けました。そんな時、重たい心を引きずる病院生活で、と



川口一憲先生

ても元気なお婆ちゃんに出会いました。「その元気の秘訣は何ですか」とたずねると、「三十二年間サナモア光線を使っているからよ」とおっしゃられたのです。一点の曇りもない言動にとっても興味がわき

◆ 募 集 ◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、サナモア光線療法の普及にご協力頂ける方、治療院の開業を検討なさりたい方は、お問い合わせください

〒153-0063

東京都目黒区目黒1-23-11

TEL (03) 5759-3710

FAX (03) 5759-3720

ました。そこで、早速、目黒のサナモア光線治療院を訪ねて、光線治療を受けるうちに、その確かな効能に間違いのないことを体感しました。即座に「はつらつさん」を購入し、連日の治療を行ったところ、一か月後のレントゲン検査の結果では、医師も驚くほどの回復ぶりでした。今思うところの重大故により、サナモア光線に導かれ、その恩恵を享受できたことから、新たな仕事への道筋も見えたといえます。迷いはありません。一人でも多くの人のために、正しい光線療法の普及に努め、一生を捧げたいと考えております。

治験例報告

潰瘍性大腸炎が

光線療法で寛解した

神戸市 ウエノ光線療研

症例 42歳 男性 会社員

症状 四年前、潰瘍性大腸炎と診断されて治療を受けたが、その際、この病気は原因不明で再発を繰り返すと説明を受けていた。その二年後に、再び、血便、下痢が続いたため病院を受診したところ、再発したとの説明を受け、初回と同様、薬物療法と食事指導を受けた。患者は、今後とも再発を繰り返すことに不安を抱いていたが、従兄からサナモア光線療法を勧められて来所した。

療法経過 治療は、BDカーボンで、下腹部を中心に30分、左右の側腹部を各10分、腰部20分、背部10分、顔面と後頭部は集光器を使用して各10分、肛門部も集光して20分の照射を施行。さらに、ABカーボンで足裏20分、

上野 健太郎氏報告

膝10分照射した。日常生活面では、なるべくストレスをためないように指導した。三週間後には職場に復帰できたが、まず、腹痛を意識しなくなり、血便もほとんど見られなくなる。一日に五、六回あった下痢も二回程度となり、睡眠不足も解消され

治験例報告

白内障が光線療法で改善した

福岡県春日市 育美健康光線療研

症例 70歳 男性

症状 近頃、物がぼやけて見えるようになったので、眼科を受診したところ、白内障と診断され手術を勧められたが、以前からサナモアを愛用しており、光

た。一か月後、定期検診の内視鏡検査では、直腸粘膜の潰瘍も改善し出血も認めず、回復は極めて良好とのことであった。それから、二年が経過したが、再発の兆候もなく体調は良好で、指導された食事療法を行いつつ

ほぼ毎日、光線治療を行っている。周囲の人からは、顔つきが明るくなったと言われるようになり、自分自身も、光線療法により再発の不安から解放されたと感じている。

(TEL) 〇七八―三三―二三五八

山崎 いく子氏報告

線療法で治したいという希望で相談された。

療法経過 自宅では、既にABカーボンにて顔全体、特に、両眼に当たるようにして、30分から60分の照射を行っていた。こ

サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA(緑印)、B(赤印)、C(青印)、D(黄印)カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともどもご愛用者各位の御信頼を戴き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことはご存じの通りです。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセットしたり、当研究所が独自に広めたカーボンの呼び名のA、B、C、Dや緑印、赤印、青印、黄印を勝手に流用したり、あたかもサナモアと同じと見せ掛けて販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる人をあざむく行為は断じて許されるものではありませんが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任は持たせませんので呉々もご注意下さい。

なおカーボンについて疑問の点がありましたらお問い合わせ下さい。

(株)東京光線療法研究所

治験例報告

脳梗塞と糖尿病性神経障害に
対する光線療法の効果

川崎市 東京光線治療院

海渡 一二三氏報告

症例 85歳 女性
症状 以前から糖尿病を患い、

当院にて光線療法を受けた経験があった。(五ページへつづく)

ちらからは、ADまたはBDカーボンにて、集光器を使用し、左右別々に片眼をしっかりと照射後、左右の前頭部を、それぞれ、20分から30分照射するよう指示した。さらに、基本照射として、足裏、膝、腰部、腹部、背部、後頭

部を各20分照射すること、眼はできるだけ長く照射するように指示した。半年後に電話連絡があり、以前のように物が見えるようになったと大変喜ばれていた。

(TEL) 〇九二―五八一―二〇三九

五七二―二五七三

〈四ページからつづく〉

数日前に、突然、脳梗塞を発症し入院となり、病状が安定してからリハビリを開始したが、足腰の痛みのため、思うようなリハビリができなかった。

退院後、光線療法を受けに来院したが、痩せが目立ち、顔色不良で、足腰の痛みが強く歩行

も困難な状態であったため、車椅子からベッドに移り治療を行うような状態であった。

療法経過 治療はA Bカーボンにて四台の治療器を使用。側臥位にて、顔面、腰部、臀部、膝を10分照射し、その後、腹部、後頭部、足裏を10分照射した。さらに、仰臥位として、右顔面

左腰部、右膝、左足に10分、左顔面、右腰部、左膝、右足を10分照射して終了した。

治療は、平成十六年六月から十一月まで行ったが、糖尿病性神経障害による痛みも消失し、脳梗塞に伴う麻痺も改善して運動機能を取り戻しつつあり、家族も大変喜ばれている。

(TEL 044-731-5067)

治療例報告

くも膜下出血の後遺症に対する

光線療法の効果

福岡県 森川嘉文整体院・太陽光線療法院

森川 嘉文氏報告

症例 71歳 女性

症状 平成十四年六月東京の長男宅において、くも膜下出血で倒れ入院。開頭術を受けて脳動脈瘤を処置し、水頭症の治療も行った。同年九月、福岡の病院に転院。

当院初診時、患者は、高血圧、頭痛、発語が困難、尿失禁、左

半身が不自由で真つすべに歩行できない等の症状を呈していた。

療法経過 当初、光線療法は、

病院の外泊許可がおりる週末の二日間のみで開始。治療は、A Aカーボンにて足裏、膝前後、

下腿、腹部、腰部、背部、顔面、後頭部集光器をそれぞれ各10分照射した。また頭痛の強い時

には、A Aカーボンにて集光し、

頭頂部や側頭部に10分の照射を

加えた。入院生活が続き、肩関節痛、背部痛、腰痛を訴えたため、10回終了頃から、カーボンをA Bカーボンに変更して、足裏20分、膝、腹部、腰部、背部、

後頭部、左右の肩関節前後にそれぞれ10分照射。特に痛みの強い部位には、さらに10分以上の照射を加えた。

頭部には、同様にA Aカーボンで照射した。同年十二月末に退院となったが、患者一人での外出は困難であったことから、家族が付き添って週末二日間のみの治療が続いた。頭痛と高血

全自動光線治療器 はつらつさんと ジョイントカーボン

サナモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように、正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサナモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてきまし

はつらつさんは、全自動光線治療器はつらつさんで、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントできるサナモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

担当医の診察を受けるために上京したが、予想をはるかに上回る回復ぶりに驚いていた。その後、さらに治療を続けた結果、現在では、薬を一切服用していないが、後遺症などほとんど分からない程度までに改善し、血圧も安定し元気に過ごしており、週二回の治療は欠かさず続けている。

平成十六年二月には、当時の

(TEL 092-501-3582)

サナモア光線療法 体験記

風呂上りの光線で
足の重い感じが
軽くなります

福岡県 青木 一弘様

幼い頃から、祖母の家に遊びに行って、病気になるサナモアをかけてもらっていました。あれから二十年後の今、そのサナモアを我が家でも使うようになったとは思ってもみませんでした。母が体調をくずし、祖母が購入してくれたのですが、今では、家族四人で朝晩使っています。自分自身としては、風呂上りに、足の裏に照射しているのですが、足の重い感じが不思議と軽くなり、蓄積した疲れがとれていきます。これからも、感

じたことを送ります。

サナモアの
素晴らしさを
多くの人に広めたい

石川県 本西 可代子様

この頃は、「癌とともに生きる」とよく言われますが、癌とともに生きるのも楽なこととは思えません。私の主人も大腸癌を患いました。腹痛が続くため病院に行ったところ、大腸癌であることが分かりました。あまりの痛みから、手術の予定日まで待つことができずに、日曜日に緊急で手術を受けたのですが、医師からは、末期的な段階であり、余命はさほど長くないでしょうと宣告されました。けれど、私は神様に願掛けして、医師に許可をいただき、サナモアを毎日、一生懸命に行いました。すると、主人は、徐々に元氣を取り戻し、二か月後には、なんと退院することができたまでに回復したのです。退院してから、日課として毎日光線を照射し続け、しばらくして少し働く

ことができるようになりました。今は、既に亡くなりましたが、死因は癌でありませんでした。きっと、サナモア光線のおかげで、癌細胞が死滅したこと思っています。こんな素晴らしい治療法を、癌で苦しんでいる方たちに、是非、教えてあげて下さい。抗癌剤などで苦しまずに済むことと思いますし、サナモアは、後々、健康のためにきつとお役に立つことでしょう。私は、今も元気に生活しておりますが、これからも、周りの人に、サナモア光線療法の素晴らしさを教えてあげたいと思っております。

サナモア体験記募集

サナモアの効果は体験しないと信じられないところがありますが、実際に効果を体験した体験記ほど説得力のあるものはありません。ついでに体験記をお送りくださいますよう、お願いいたします。

なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。



サナモア光線協会

趣意書

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、一、季刊紙、「健康と光線」の発行、二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

「健康と光線」の購読者を募集します。
また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会TEL(03) 三七九三―五二八二
三七二一―五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)